

111年の時を超えて……

～1枚の写真がひもとく日露友好の記憶～

9月16日(土)

10:30～12:00
(10:00開場)

講師：立木 さとみ氏
場所：篠崎文化プラザ 講義室
定員：50名(申込制・入場無料)
対象：どなたでも
受付：

8月21日(月)午後2時より
篠崎図書館カウンターまたは
電話(03-3670-9102)にて

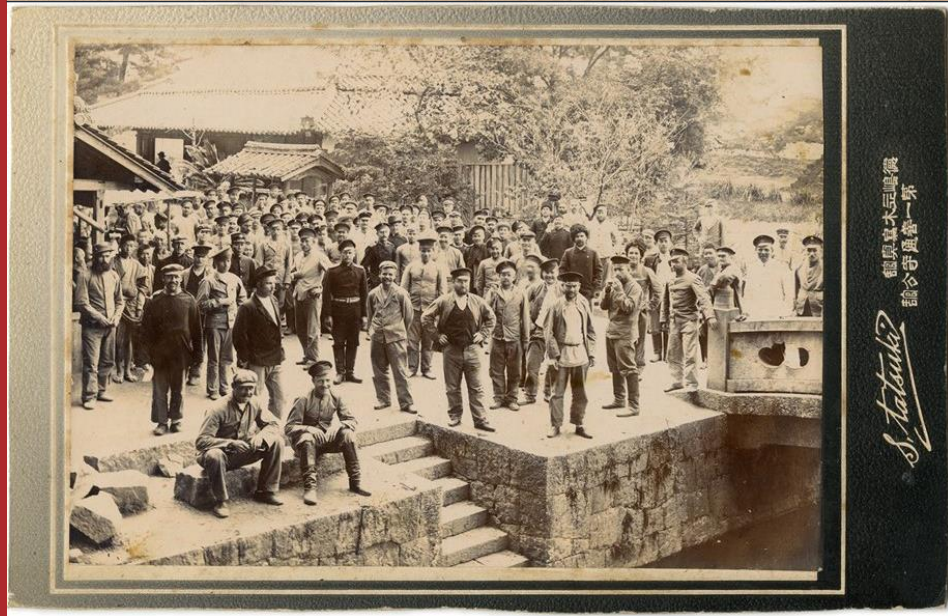
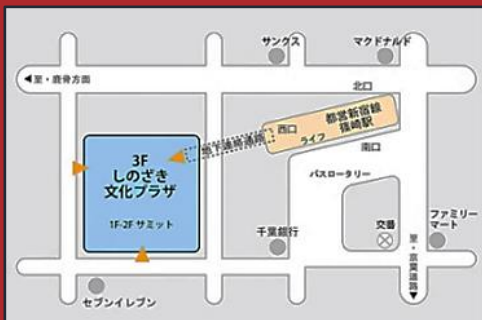
お問い合わせ：

篠崎図書館
東京都江戸川区篠崎町7-20-19
篠崎文化プラザ内

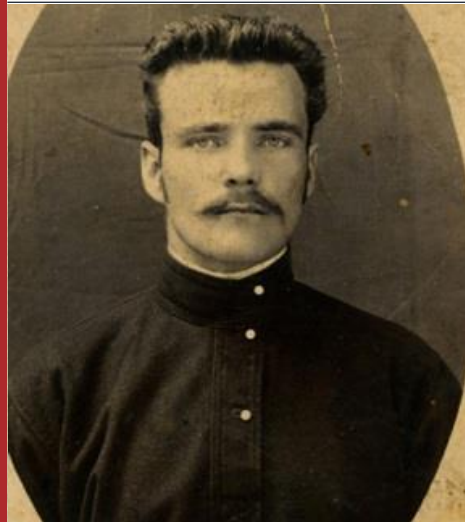
<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/>

【アクセス】

都営地下鉄 新宿線 都営バス・京成バス
篠崎駅西口(徒歩2分) 篠崎駅前/停(徒歩2分)



徳島県立三島高等学校
立木写真館蔵



ある日ロシアから香川県善通寺に届いたのは、日露戦争時に撮影されたロシア人俘虜の集合写真とメール。送り主のロシア人女性は曾祖父の遺した写真を手掛かりに、善通寺と写真を撮影した立木写真館にたどり着く。そこで撮影者と被撮影者のひ孫同士が、奇跡の対面を果たした――。

NHKドラマ「なっちゃんの写真館」のモデルにもなった徳島県の立木写真館・立木さとみ氏をお招きし、お話を伺います。



たつき 立木 さとみ

立木写真館常務取締役/ポートレート・アカデミー・オブ・ジャパン(PAJ)室長/阿波女あきんど塾キャスト/徳島大学監事 他。祖母・香都子は、1980年のNHK朝の連ドラ「なっちゃんの写真館」のモデル。天野祐吉・島森路子両氏のもとで、月刊誌『広告批評』の編集、「広告学校」の企画運営、単行本の編集、イベントの企画運営等に携わる。『いろどり～おばあちゃんたちの葉っぱビジネス』を、立木写真館創業123周年記念事業として自費出版(10,000部)。(約2年で完売し、2008年に第2版刊行)